



な か が わ 小 学 校

学校教育目標：

心身ともに逞しく、主体的にねばり強く学び、思いやりのある児童の育成

文責 校長 池田 雄一郎

思いやりのある中原小っ子へ

～アイガモ農法を通して～

6月某日、卵からかえった雛たちもすくすくと大きくなり、いよいよ学校そばの水田に放鳥しました。つい先日田植えが終わった水田に、アイガモ達は元気よく泳いでいました。雛たちは自分で殻を破って誕生します。逆に自力で殻を破れなかった場合は、誕生することなく死んでしまいます。小さな小さな雛ですが、みんな一生懸命生きています。命との関わりを通して、思いやりのある人間に成長してもらいたいです。子どもたちが帰り際、雛たちは、4年生の子どもたちを親と思っているらしく、いつまでも「ピョピョ」と鳴いていました。



「時を守り、場を清め、礼を尽くす」全校朝会より

いよいよ7月に入りました。1学期も残り14日となりました。6月はいろいろなことがありました。6年1組はたくさんの人に授業を見てもらいました。自分でしっかり考える。友達と質問しながら話し合う。全体の場面で発表するなどなどとても立派でした。みなさんもこんな風になってください。

他にもうれしいことがありました。1つめは、時間を守る人たちが増えたことです。授業と授業の間は準備時間です。自分たちで呼びかけている学年もありましたね。正しいと思ったことを自分で行動することはとても素晴らしいことです。

2つめは、中原小が少しだけきれいになったことです。運動場のゴミも減りました。委員会の人たちがゴミを拾ったり、呼びかけをしてくれたお陰だと思えます。また、廊下などがとてもきれいになりました。きっと、無言掃除をがんばっているからだと思えます。

3つめは、あいさつです。校長先生は、朝から門のところに立っていますが、自分からあいさつする人が増えました。プラスワンで、校長先生、おはようございますと、校長先生と言ってくれる人もいました。とても、うれしかったです。

終業式の日には「時を守り、場を清め、礼を尽くす」について、とつてもがんばった人を紹介したいと思います。みなさん、「お月様は見てる」の話を思い出し、いつでもどこでも「正しいと思うことは、自分からどんどん挑戦してくださいね。

さて、6月の人権集会で「さんづけ」のお話をしました。みなさん慣れてきましたか？校長先生は、自分で言うのも何ですが、大分できるようになりました。そして、気づいたことがあります。それは「さん付け」で名前を呼ぶと、自分が優しい気持ちになれるということです。優しい気持ちになると、笑顔にもなれます。みなさんはどうですか？学級の人権目標や「さん付け」のことをしっかり振り返ってください。残りの14日間も、最後まで「笑顔」でねばり強く、自分のことは自分でできるようになってください。

歯磨き指導

全校でブラッシング指導を行いました。人吉市のう歯の割合は高く、中原小はさらに高い割合です。永久歯は元に戻ることはありません。歯磨きは毎日の習慣です。大人として子どもたちに丈夫な歯を残したいものです。



感謝！読み聞かせ

毎月1回学校支援ボランティアの方々に読み聞かせをしてもらっています。新しくボランティアに協力してくださった方々もいらっしゃいます。世の中が後継者不足に悩まされている昨今、読み聞かせを次世代に引き継いでいこうとすることはとても素晴らしいことだと思います。本当にありがとうございます。